

三浦朱門氏との意見交換会の報告

議題： 世界に発信できる日本橋地域の文化・伝統の発掘 五街道の起点からみる日本橋地域のあり方 日本橋川における水辺空間の活用方法 等

若手（8名）との意見交換会/H18.3.9

1. 世界に発信できる日本橋地域の文化・伝統の発掘

- ・消費の場としての活気や郷土愛を取り戻したい。
- ・首都東京で歴史を感じられるものが重要。外国人を連れてこれる街。
- ・街の潤い、生活臭が無くなった。商業地としての賑わいが無い。再開発にあわせて賑わい空間、くつろげる場となる裏路地の創出。
- ・商人のまちにしたい（空き店舗の活用、大店と小店の融合）。
- ・年配をターゲットとした、高級で何でも揃う、高級を楽しめる街。
- ・世の中の価値観が変わってきている。商業だけでなく、首都東京の顔として、文化、歴史、伝統、和を大切に、これらをシンボルとした街。観光や文化の要素を残す。
- ・高いビルではなく、低い建物。建物と道路の共存。多く立地している製薬会社の1階部分を活用。

2. 五街道の起点からみる日本橋地域のあり方

- ・日本橋にはまだまだ知られていない地域資源(老舗や良い商品等)が多くある。それらを作り出した場所。特に、若い人は日本橋を知らない。
- ・日本橋は、過去の魚河岸等、食文化の発信地。
- ・日本橋は、昔から新しい文化を発信する場所。
- ・日本中から文化的な人の集まる落ち着いた街。商人が創った街。
- ・老舗と新しい店など、新旧の文化が融合した“カジュアル”で“日常的に使いこなせる”街

3. 日本橋川における水辺空間の活用方法

- ・川が汚く、臭い。川というより“どぶ”という感じがする。川をきれいにし、美しい街にしたい。緑も重要。
- ・海外並みの美しい川沿いの街。水運の街の復活。

4. その他

- ・求めるまちづくりに首都高が邪魔をしている。
- ・国民のコンセンサスが重要。地域のためではなく、日本全体の話。
- ・ハードの話だけでなく、この街がどう変わっていくかが重要。

長老（5名）との意見交換会/H18.3.16

1. 世界に発信できる日本橋地域の文化・伝統の発掘

- ・何百年という歴史を持つ老舗等といった街のDNAを大切にしたい。
- ・“粹”なまち、“ヤボ”でない街。首都高は最もヤボではないか。
- ・高級でも、おしゃれな、品ある人が集まり、そして楽しめる大人の街。
- ・人が住む街。あるいは、居住者が増えなくても、日本橋が大好きな“日本橋っ子”を生み出したい。
- ・商業や経済等、機能のバランスがとれた街。
- ・新しいものと古いものが融合した街。
- ・有名で大きな店だけでなく、“誰も知らないかわいい店”があるような楽しめる街。
- ・海外ブランドではなく、世界に誇れる日本橋ブランドを創り出したい。

2. 五街道の起点からみる日本橋地域のあり方

- ・橋周辺だけでなく、日本橋地域全体からの賛同を得た上での街づくりの推進。
- ・表通りだけでなく、裏通りもきれいな街。
- ・全国の様々な地域から集まった“よそ者”が創った街。全国の店が集まる街。
- ・日本橋地域に来た人に感動を与えられる街。
- ・日本橋地域に集まる銀行、証券会社、製薬会社等のビルの1、2階を利用した人が集まる賑わい空間の提供（企業への協力要請等の働きかけ）。

3. 日本橋川における水辺空間の活用方法

- ・日本橋川の歴史的景観（河岸蔵の町並み、魚河岸周辺の賑わい等）文化や舟運を見直し、川を中心とした街。
- ・日本橋川の橋詰や河畔を憩いのスペースを整備。

4. その他

- ・首都高移設のプロジェクトは、街全体が変わることを広く伝え、地域のエゴにらないようにすることが重要。

日本橋地域再生に関するこれまでの議論

①日本橋 みちと景観を考える懇談会(H15年8月～)

- [世界有数の賑わいのある魅力的な街へ](#)
- 中央区全体を[水の都](#)として
- [日本経済にとっての重要性、国際的にみた場合の重要性](#)
- 日本橋川の両側に[オープンスペース](#)を設け、明るい舞台として再生
- [日本橋の再生が、次の日本を創造](#)する
- [五感で感じられる](#)日本橋らしいまちづくり

②日本橋まちづくりアイデアコンペ(H16年度)

- 容積移転等による日本橋川沿いの[緑地・オープンスペースの創出](#)
- [日本橋川を向いたまちづくり](#)の推進

③グループインタビュー(H16年度)

日本橋地域の伝統文化を活かしたまち

- 老舗等による[路地・下町文化](#)や地域のコミュニティ(祭り、その他地域イベントなど)が残る、安らげる街
- 昔ながらの店から出る[音\(職人\)や匂いを街の魅力](#)として活用
- [“和”の魅力](#)、個店の魅力にあふれた、散歩して楽しい街
- 古くからの店が同じ場所で[商売を続ける](#)ための仕組みづくり

日本の中心(五街道の起点)としてのまち

- 日本中から[文化的な人の集まる落ち着いた街](#)(日本橋地域から日本中へ文化・情報を発信)
- 老舗と新しい店など、新旧の文化が融合した[“カジュアル”で“日常的に使いこなせる”街](#)

日本橋川の水辺空間を活用したまち

- 日本橋川の歴史的景観(河岸蔵の町並み、魚河岸周辺の賑わい等)文化や舟運を見直し、[川を中心としたまちづくり](#)の実施
- [日本橋川に向けて縁台](#)を出す店があらわれる空間整備
- 日本橋川の[橋詰や河畔を憩いのスペース](#)に整備
- 日本橋川[河岸に散策路や公園](#)等を整備し歩いて楽しい憩える街

④川・道・まちづくり研究会【H18年1月～】

- 現段階では、[地下案を中心](#)に検討
- [川沿いは一部低層の建築物を含むオープンスペースを整備](#)し、魅力的で賑わいのある街を創出。
- [周辺地域のプロジェクトとの連動](#)が必要
- [関係者の負担・協力](#)等について、[幅広い合意](#)を得ることが必要。
- 都市基盤整備事業並びに街づくり事業を調整し、[一体的に進めるための仕組み](#)が必要。

⑤日本橋川に空を取り戻す会(日本橋みち会議)【H18.2.14】

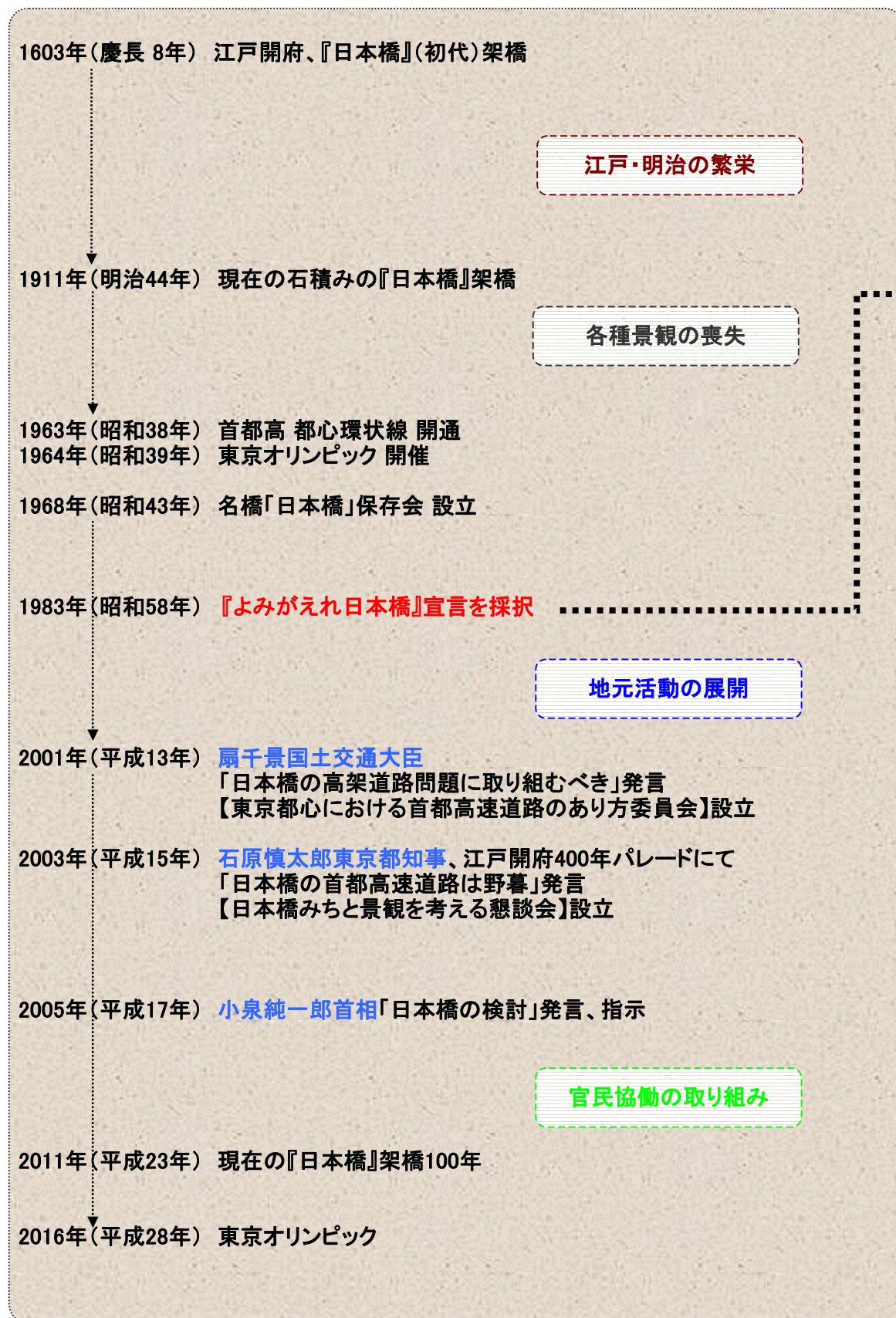
- 東京、さらには[日本全体への波及効果](#)が重要
- [上級コース\(アドバンストコース\)のみち・まちづくりの象徴](#)
- 費用負担については、[国民の理解](#)が必要
- “[創造的破壊](#)”への取組が必要
- [世界に発信できる日本橋の歴史・文化](#)

⑥新聞・雑誌等(H17.12.26～)

- [世界的な名所](#)になる(朝日新聞 - 小泉首相)
- 日本橋の姿は、やみくもに都市開発や道路づくりに走った[時代を象徴する負の遺産](#)(朝日新聞)
- [陽光とにぎわいの街へ](#)(読売新聞 - 一条裕二)
- [景観上の観点から、既存のインフラを撤去・移設](#)するのはあまり例がない(日本経済新聞)
- [都市の象徴を道路の橋脚で覆った「愚行」](#)をここで見直したい(日本経済新聞)
- [豪壮な店 上品な町](#) 日本橋って品があるね。気持ちのいい町だね(東京新聞 - 森まゆみ)
- [首都東京の品格](#)を高めたい(読売新聞)
- 「[美しい国づくりの弾みに](#)」、「住民の積極的行動がカギ」(世界日報)
- [ジャパンバリュー](#) 発信拠点を目指す日本橋(週刊東洋経済)
- [伝統と調和した街へ](#)(夕刊フジ)
- [世界的な原点回帰の流れ](#) 日本橋が注目されるのは必須だ(木村尚三郎)

「日本橋」の地元活動について

日本橋年表



「よみがえれ日本橋」宣言(昭和58年10月12日決議)

1. 趣旨

天下の名橋であり、わが国道路の原点である日本橋に、昔日の面影はない。

高架高速道路の足下に喘ぎ、美観、風格は損なわれ、かつての威風は地に落ちたと言わざるを得ない。

わが保存会としては東京オリンピック成功の一翼を担った高速道路のはたらきに賛辞を惜しむものではない。然し、わが国における日本橋の存在は限りなく大きく、国民の心に脈打つ日本橋への愛情の念は、いよいよ深い。

われわれ保存会は、こよなく日本橋を慈しみ、橋洗いなど日常活動を実施しているところである。

わが日本橋に、かつての如く陽光がふりそそぎ、街に生气と潤いの満ちる日を架橋380年を閲した今、切望するや切である。

【これまでの日本橋地元の取り組み】

◇地元活性化団体の設立

→名橋「日本橋」保存会／日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会など

◇街並み整備

→共同溝・路面整備、31m(100尺)スカイラインの統一化など

◇地元行事

→「日本橋」橋洗い、「坂田藤十郎襲名披露」など各種文化イベントほか多数

◇景観の整備

→中央通り「はな街道」、電線地中化+路面石畳化など

◇各種事業・団体・会議体との連携

→日本銀行、各行政、日本橋学生工房、各種シンポジウムほか多数

【これからの日本橋地元の取り組み】

日本橋地元は、日本橋川沿いを中心とした街づくりを自ら行うことにより、首都高速道路移設の実現に向けて努力をしていく。